

2007 年度 委員会事業報告書

総務渉外委員会

委員長 田中 伸幸
担当副理事長 網屋 専士

2007 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 5日	委員会・J Cルーム	4名	3名
2	11月15日	委員会・J Cルーム	4名	3名
3	12月19日	委員会・J Cルーム	2名	5名
4	1月15日	1月度通常総会・人吉商工会議所	24名	15名
5	1月28日	新年会・あゆの里	73名	9名
6	1月28日	韓国 南大邱青年会議所訪日対応	27名	9名
7	2月 2日	委員会・J Cルーム	2名	5名
8	2月15日	2月度熊本ブロック協議会 会長公式訪問 3LOM合同例会	90名	9名
9	3月25日	委員会・J Cルーム	2名	5名
10	5月30日	委員会・J Cルーム	2名	5名
11	6月 3日	厄入り寿ぎの宴	21名	15名
12	6月21日	6月度次年度役員選考委員選出例会・東西コミュニティーセンター	23名	14名
13	7月23日	委員会・J Cルーム	2名	5名
14	8月23日	8月通常総会・人吉商工会議所 3F 大ホール	30名	9名
15	11月23日	委員会・J Cルーム	2名	5名
16	12月 1日	12月度卒業式 望年会・アンジェリーク平安	61名	8名

事業内容報告

本年度は「全員参加そして組織活性化へ」をテーマに内外の LOM 事業に携わって参りました。まずは自分から変わるのだという思いで積極的に内外の LOM 事業や各種大会に参加をさせて頂いていただきました。結果と致しまして当委員会の事業での出席率は 81 パーセントが最高という結果になりました。事業内容と致しましてはまず 1 月通常総会では 2006 年度年間事業報告並びに決算、2007 年度理事長の所信、2007 年度年間事業計画並びに予算を決議することができました。新年会におきましては私たちの今後の活動を伝え日頃からお礼を申し上げると共に新たな交流を深めるきっかけと繋がったと確信いたしました。また南大邱青年会議所訪日対応では南大邱青年会議所の皆様方を福岡までお送りした際、固い握手をかわし非常に私達との交流を喜んでいただき吉青年会議所創立 50 周年やテコドール大会 30 周年につながる交流ができました。3LOM 合同例会では熊本ブロック協議会会長に日本青年会議所会頭の所信を発表していただき熊本ブロック協議会の今年 1 年間の活動方針及び内容等を発表していただきました。また 3LOM 合同例会ということで八代 JC や水俣 JC、熊本ブロック協議会と非常に内容の濃い情報共有や交流ができました。厄入り寿ぎの宴では厄入りを迎えられるメンバーを LOM メンバーとシニアクラブメンバーが一年間の無事を祈念し親睦を深め交流を深めると共に精神的文化儀礼から学びその大切を知る意味でもシニアクラブの皆様からもたいへんすばらしいお話を聴くことができ開催目的の十分な実現と成果が得られました。次年度役員選考委員選出例会では 2008 年度理事長並びに理事、役員を選考する役員選考委員を厳正な投票の結果、選出することができました。また 8 月通常総会では 2008 年度理事長・理事・役員並びに監事の人事案件や補正予算等がすべて決議されました。そして最後の例会となった卒業式・望年会においてはメンバーの 1 年間の労をねぎらうと共に、LOM メンバーやその家族、そしてシニアメンバーとの交流を図り、親睦や友情を深めることができ、田上明仁君・宮本浩光君・那須弘紹君・尾方恵一郎君・下田文仁君の全員出席のもと卒業式を行うことができました。

担当副理事長統括所見

1 月通常総会に始まり 12 月卒業式・望年会までほぼ例年通りであります。田中委員長のもと事業計画・実行を淡々と動いていただきました。1 月は総会、新年会、南大邱 JC 訪日対応、基本資料作成と最もハードでした。その中で南大邱 JC 訪日対応は鹿児島空港からの訪日という新しい試みとなり、しかも 10 名の来訪となりました。これは委員長の熱意が伝わった賜物だと思います。総務、渉外の部分は着実に進めることが出来た 1 年ですが、もうひとつの柱である広報が不十分だったと思います。昨年閉鎖されていたホームページを再開したものの、公開討論会の情報発信を行う関係上、委員長と高瀬副委員長が外れることになり、私が担当となりました。公開討論会の部分は十分に発信出来たとはいえますが、その他の情報発信は委員会への管理移行が出来ず、不十分な結果となりました。中神理事長はじめメンバーの皆様には申し訳なく思います。

2007 年度 年間事業決算書

総務渉外委員会

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	406,200	369,720	36,480	
登 録 料 収 入		1,001,000	-1,001,000	新年会登録料 295,000 円 南大邱登録料 281,000 円 厄入り登録料 180,000 円 卒業式登録料 245,000 円
雑 収 入		60,000	-60,000	新年会御樽 40,000 円 南大邱 JC より交通費一部支給 20,000 円
収 支 合 計	406,200	1,430,720	-1,024,520	

(支出の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
1 月 通 常 総 会	6,200	6,000	200	
総合基本資料作成	170,000	170,000	0	
2007 年度新年会	0	285,120	-285,120	
南大邱青年会議所訪日対応	110,000	82,237	27,763	
2 月 度 3 L O M 合 同 例 会	50,000	240,483	-190,483	
厄入り寿ぎの宴	0	180,000	-180,000	
6 月 度 次 年 度 役 員 選 考 委 員 選 出 例 会	30,000	2,100	27,900	
8 月 通 常 総 会	10,000	4,500	5,500	
12 月 度 卒 業 式 例 会 ・ 望 年 会	30,000	256,150	-226,150	
予 備 費				
支 出 合 計	406,200	1,226,590	-820,390	
	余剰金	204,130		

2007 年度 委員会事業報告書

社会開発委員会

委員長 石蔵 宗久
担当副理事長 宮山 賢

2007 年度 年間事業決算書

社会開発委員会

2007 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 5日	第1回委員会・JCルーム	3名	4名
2	10月22日	第2回委員会・吉泉	4名	3名
3	11月 2日	第3回委員会・JCルーム	4名	3名
4	12月15日	第4回委員会・JCルーム	3名	5名
5	12月26日	第5回委員会・JCルーム	6名	5名
6	1月19日	第6回委員会・JCルーム	3名	4名
7	1月30日	第7回委員会・JCルーム	4名	4名
8	2月 1日	第8回委員会・JCルーム	4名	3名
9	3月11日	社団法人吉青年会議所認証記念 お茶会例会	161名	11名
10	4月13日	人吉市民と約束! ローカル・マニフェスト型公開討論会	1151名	12名
11	6月 6日	第9回委員会・JCルーム	3名	4名
12	6月26日	第10回委員会・JCルーム	6名	3名
13	7月26日	第11回委員会・JCルーム	4名	4名
14	9月18日	第12回委員会・JCルーム	3名	5名
15	9月24日	社団法人吉青年会議所 社会開発委員会担当例会 地域伝統文化ウンスカルタ体験	52名	21名
16	10月 1日	第13回委員会・JCルーム	4名	4名
17	11月29日	第14回委員会・JCルーム	4名	5名

事業内容報告

2007年度、当委員会では2例会と、1事業を担当させていただきました。例会では、社団法人吉青年会議所の認証に思いを馳せた「認証記念お茶会例会」を、さらには都市の歴史に培われた伝統文化を地域の財産と認識し、継承への意識を高められた「ウンスカルタ体験」を通し、先人の思いに触れる貴重な体験ができたと思います。また事業の、人吉市民と約束!ローカル・マニフェスト型公開討論会では都市初めての公開討論会を実施し、地域の有権者に一票を投じる適切な判断材料が提供できたと信じています。

担当副理事長統括所見

本年度の社会開発委員会は4月の「人吉市民と約束!ローカル・マニフェスト型公開討論会」に向けて全力で走り出しました。石蔵委員長は初めての委員長でしたが、次年度の段階から常に先頭に立ち委員会を、またLOM全体を引っ張っていただきました。「まちづくり」という基本方針の下、「認証記念お茶会例会」では地域の人たちとお茶の文化に触れ、「地域伝統文化ウンスカルタ体験」では地元で伝わる文化を体験しました。そして最大の事業でありました「人吉市民と約束!ローカル・マニフェスト型公開討論会」では、地域住民の方々に対して地域の問題をわが身のことと考え、行動するための投げかけが出来たと思います。失敗の許されない事業での石蔵委員長の的確な指示は、事業をスムーズに運営することが出来た要因でした。大変な一年でしたが石蔵委員長をはじめ委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	580,418	580,418	0	ローカル・マニフェスト型公開討論会では補正予算編成
寄付金収入	0	4,000	-4,000	認証記念お茶会例会にて、高山征治先輩並びに給食センターの住吉昭則氏より
収 支 合 計	580,418	584,418	-4,000	

(支出の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
認 証 記 念 お 茶 会 例 会	120,000	115,731	4,269	
人吉市民と約束! ローカル・マニフェ スト型公開討論会	430,418	430,418	0	
社会開発委員会担当 例会地域伝統文化 ウンスカルタ体験	30,000	19,710	10,290	
予 備 費				
支 出 合 計	580,418	565,859	14,559	
余 剰 金		18,559		

2007 年度 委員会事業報告書

青少年育成委員会

委員長 下田 文仁
担当副理事長 宮山 賢

2007 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 5日	第1回青少年育成委員会 丸惠本館	5名	2名
2	11月 2日	第2回青少年育成委員会 JCルーム	4名	3名
3	12月26日	第3回青少年育成委員会 JCルーム	5名	3名
4	1月31日	第4回青少年育成委員会 JCルーム	5名	3名
5	2月22日	第5回青少年育成委員会 海山	5名	4名
6	3月29日	第6回青少年育成委員会 JCルーム	5名	4名
7	4月27日	第7回青少年育成委員会 JCルーム	6名	3名
8	5月17日	5月度例会「近現代史学習例会」東西コミセン	28名	14名
9	5月19日	第3回わんぱく相撲人吉場所人吉市相撲場	131名	24名
10	5月31日	第8回青少年育成委員会 JCルーム	5名	3名
11	6月29日	第9回青少年育成委員会 JCルーム	4名	3名
12	7月27日	第10回青少年育成委員会 吉泉	3名	5名
13	7月28～ 29日	第23回わんぱく相撲全国大会両国国技館	7名	?名
14	8月31日	第11回青少年育成委員会 JCルーム	5名	5名
15	11月 2日	第12回青少年育成委員会 JCルーム	3名	6名
16	11月11日	ふるさと発見!相良藩こども塾 歴史館	50名	26名
17	11月16日	第13回青少年育成委員会 JCルーム	4名	5名

事業内容報告

- ①「近現代史学習例会」日本JICが製作したDVD「誇り」を題材に、日本の近現代史を子どもたちにどう伝えていくべきか、パネルディスカッション形式で考える例会となった。
- ②「第3回わんぱく相撲人吉場所」人吉市内の小学校を中心に広く選手を募り、約60名の子どもたちを集めての盛大な大会となったが、様々な課題も新たに見えてきた。
- ③「ふるさと発見!相良藩こども塾」小学6年対象。人吉城、青井神社、犬童球涙生家など大型バスで回りながら、ふるさとの歴史や自然、郷土料理など専門の先生の講義を受けた。

担当副理事長統括所見

本年度の青少年育成委員会は「ひとつづくり」という基本方針で一年を過ごしてまいりました。下田委員長は初めての委員長であったにもかかわらず、新しい風をLOM内に吹き込んだのではないのでしょうか。特に「近現代史学習例会」と「ふるさと発見!相良藩こども塾」においては、元高校の世界史教諭の経験を存分に発揮されて意義のある、そして前例の無い事業・例会が出来たと思います。また「第3回わんぱく相撲人吉場所」においては最終結果にイレギュラーなことが起こりましたが、今後の課題が見えた事業になりました。事業・例会と回を重ねるにつれてハードなものとなっていきましたが、下田委員長の知識・行動力には尊敬の念を抱いた次第です。さいごに無事一年を締めくくれたことに感謝しますとともに、下田委員長をはじめ委員会の皆様、一年間本当にお疲れ様でした。

2007 年度 年間事業決算書

青少年育成委員会

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	320,000	259,500	60,500	
登 録 料 収 入		14,500	- 14,500	
懇 親 会 収 入		10,400	- 10,400	
収 支 合 計	320,000	284,400	35,600	

(支出の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
第3回わんぱく相撲人吉場所	0	0	0	
5月度例会 近現代史学習例会	20,000	1,680	18,320	
ふるさと発見!相良藩こども塾	300,000	253,773	46,227	
予 備 費				
支 出 合 計	320,000	255,453	64,547	
	余剰金	28,947		

2007 年度 委員会事業報告書

2007 年度 年間事業決算書

創立 50 周年準備委員会

委員長 加登住 亮
担当副理事長 田中 聡

創立 50 周年準備委員会

2007 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 3日	委員会・JCルーム	4名	2名
2	11月16日	委員会・JCルーム	3名	3名
3	12月12日	委員会・JCルーム	3名	3名
4	1月30日	委員会・JCルーム	5名	2名
5	2月28日	委員会・JCルーム	4名	3名
6	4月 3日	委員会・JCルーム	4名	3名
7	4月26日	創立50周年準備委員会担当研修例会「公益社団法人に移行したらどうなる？」	18名	19名
8	5月 8日	ディベート勉強会・委員会・JCルーム	7名	2名
9	5月30日	委員会・JCルーム	4名	3名
10	6月 8日	ディベート説明会・委員会・JCルーム	5名	3名
11	6月21日	ディベートルィハーサル(6月度例会後)	23名	14名
12	7月18日	委員会・JCルーム	2名	6名
13	7月19日	創立50周年準備委員会担当研修例会「ディベート例会」	34名	13名
14	7月30日	委員会・JCルーム	3名	5名
15	9月 7日	委員会・JCルーム	4名	4名
16	10月13日	委員会・JCルーム	2名	6名
17	10月18日	創立50周年準備委員会担当例会「田中市長と大いに語ろう」	33名	21名
18	11月13日	委員会・JCルーム	2名	6名
19	11月14日	創立50周年準備委員会担当例会『人吉JCアーカイブ～人吉JCの歴史を学ぶ』	35名	16名
20	11月14日	創立50周年準備委員会担当事業『褒賞2007』	35名	16名

事業内容報告

- ① 4月度例会は、公益法人とは、公益社団法人とはという知識を得ることともに、公益法人としての人吉JCの現状と課題、これからの進む方向について、皆で見つめなおす例会となりました。
- ② 7月度例会は、ディベートを各委員会対抗で開催しました。準備からリハーサル、勉強会を行うことを通して、話す力、調べる力を育成し、チームで協力することの重要さと楽しさを実感できるものとなりました。
- ③ 10月度例会は、田中市長をお招きしての講演会、意見交換会でした。行政とJCのリンクを探っていく例会でしたが、具体的に探ることができませんでした。リンクの可能性の入り口を知ることができる例会でした。
- ④ 11月度例会は、シニアクラブの先輩方を講師にお招きして、築き上げてこられたJCの歴史、その志を生きていくことができる例会でした。また、褒賞では、メンバーの熱意、努力を皆で称えることができました。
- ⑤ 50周年に向けての準備では、記念誌の次第、レイアウトの作成までとなり、予定の事業を果たすことができました。

担当副理事長統括所見

年度、創立50周年準備委員会では、「温故知新(歴史を知り今を考える)」テーマに、JCの歴史を学び、今JCでなにができるのか、地域のために何をすべきかを考えながら活動してきました。今後の公益法人としてのあり方を考え、会員のコミュニケーション能力の向上に努め、現状の地域の課題、方向性を知り、これまでJCを築き上げてこられた先輩方がその時々でどんな志を持って取り組まれてこられたのかを改めて知ることができました。創立50周年やそれ以降に向けて今後のJC活動・運動がどうあるべきかを考える上で、非常に意味のある1年間ではなかったかなと感じます。ただ、残念なことに創立50周年に向けた準備がなかなか思うようにいきませんでした。委員長のリーダーシップがちょっと足りなかったように感じますし、また、それぞれの事業を計画する上で時間的に余裕を持って取り組むことができなかった。余裕があればもっと完成度が高く、意味のある事業ができたのではないかとということが、反省すべきところで。本年度の思い、経験を忘れることなく今後のJC活動に活かして頂ければと願っております。委員長、委員会のメンバーの皆様、一年間本当にお疲れ様でした。

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	240,000	132,200	107,800	
収 支 合 計	240,000	132,200	107,800	

(支出の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
創立50周年準備委員会担当研修例会「公益社団法人に移行したらどうなる？」	60,000	37,164	22,836	
創立50周年準備委員会担当研修例会「ディベート例会」	60,000	27,262	32,738	
創立50周年準備委員会担当例会「田中市長と大いに語ろう」	60,000	5,000	55,000	
創立50周年準備委員会担当例会『人吉JCアーカイブ～人吉JCの歴史を学ぶ』及び創立50周年準備委員会担当事業『褒賞2007』	60,000	45,405	14,595	
予 備 費				
支 出 合 計	240,000	114,831	125,169	
余剰金		17,369		

2007 年度 年間事業決算書（特別会計）

創立 50 周年準備委員会

（収入の部）

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	150,000	0	150,000	
収 支 合 計	150,000	0	150,000	

（支出の部）

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
50 周 年 に 向 け た 準 備	150,000	0	150,000	
予 備 費				
支 出 合 計	150,000	0	150,000	
	余剰金	0		